

福祉関係部署以外との連携も必要であることから、地域づくり関係部署も交えた研修会を開催しました

開催内容

前回のSC顔合わせ会に引き続き、仙台白百合女子大学准教授の志水 田鶴子 氏をお招きして「様々な立場で関わる生活支援体制整備事業」について講話をいただき、グループ(地域ごと)に分かれて意見交換を行いました。

講話の内容

- ・「自立」とは、一人で何かできることではなく、依存できる(頼れる人・場所)所を増やすことである。そのような場所が地域にあれば自立した生活であると捉えられる。
- ・生活支援体制整備事業は大きく言うと地域づくりである。地域との関わりを継続することが介護予防として、自分のメリットとなることを住民自身が理解し、楽しい、やってみたいと思えるような形でなければならない。そのために様々な人が地域づくりに関わることが重要。



グループ(地域)ごとの意見交換(抜粋)

- ・ジュニアリーダーとボランティアの合同研修会ができたらいいい(多世代交流)。
- ・各団体の活動を見える化、共有していくことで、互いに繋がる可能性があると感じた。
- ・様々な団体で次世代の育成が進まない(高齢者が活躍しているのは良いが、若手に活躍の場がない)。